

合併のご挨拶

謹啓 深秋の候ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、立山黒部アルペンルート事業運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度立山黒部貫光(株)と立山開発鉄道(株)は、平成17年10月1日をもって合併し、立山黒部貫光(株)を存続会社として新たにスタートいたしました。

顧みますと、昭和27年に設立された立山開発鉄道(株)は、当時富山県において樹立された立山山岳地帯の観光、交通施設の整備と、将来黒部川奥地の電源開発工事終了後に備え、立山から信濃大町間一貫交通路を視野に入れ、立山黒部アルペンルート開業の先駆的役割を担って参りました。

その後昭和35年、黒部・有峰両地帯の電源開発工事の進展に伴い、富山県及び同社並びに関係電力会社により、立山黒部有峰開発(株)が設立され、立山黒部を中心とする交通体系の総合的な調査研究が進められた結果、長野県大町ルートを結ぶ未完成区間である室堂から黒部湖間の建設工事を担当し、これを運営する会社として、昭和39年に立山黒部貫光(株)が設立されたのであります。

昭和46年6月、立山黒部アルペンルート全線開通以来、今日に至るまで、創業目的、事業運営を共有する立山黒部貫光(株)と立山開発鉄道(株)は一体となり、運輸事業、宿泊事業の整備充実と、立山の自然保護、環境保全に全力を尽くして参りました。両社の一体化は創業者であった故佐伯宗義初代社長はもとより、各方面からも強く希求されてきた経緯もあり、この度ようやく両社合併の環境整備が整い、対等な立場で合併することとなった次第でございます。

今後、更なる事業基盤の安定と、経営の効率化によるスケールメリットを活かし、立山黒部の環境保全はもとより、一層の安全運行と顧客サービスの向上を図るとともに、国際化の進展に伴い、世界に誇れる「立山黒部アルペンルート」ブランドの確立に努め、併せて地域社会の発展に貢献して参る所存でございます。

皆様におかれましては、引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、先ずは書中をもってご挨拶申し上げます。

敬 具

平成17年10月吉日

立山黒部貫光株式会社
取締役社長 中 村 憲 史

記

新役員体制

代表取締役社長	中	村	憲	史
専務取締役	間	坂	通	夫
常務取締役（経理部長）	河	合	隆	哲
取 締 役（非常勤）	石	井	圭	一
取 締 役（非常勤）	山	田	繁	藏
取 締 役（非常勤）	高	木	定	雄
取 締 役（非常勤）	小	笹	博	典
取 締 役（非常勤）	桑	名	雅	勝
取 締 役（非常勤）	森		愛	志
取 締 役（非常勤）	腰	原	元	正
取 締 役（非常勤）	佐	伯	讓	子
取 締 役（非常勤）	竹	上		二
取 締 役（企画部長兼物販事業本部長）	松	本		寛
取 締 役（宇奈月国際ホテル総支配人）	松	岡		彰
取 締 役（立山黒部営業本部長）	高	田	一	仁
取 締 役（総務部長）	佐	伯		博
取 締 役（運輸事業部長）	村	井	宏	光
常勤監査役	杉	田	紀	実
監 査 役（非常勤）	塚	原	鐵	二
監 査 役（非常勤）	大	辻		進
監 査 役（非常勤）	金	井	昌	一
監 査 役（非常勤）	桜	木	竜	朔
相 談 役（非常勤）	金	山	秀	治

以 上